

授業科目	* 成人慢性期看護方法論				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21310J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	大嶋 満須美、中原 智美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>以下の内容について実務経験のある教員が実践と照らし合わせながら授業をすすめる。</p> <p>1. 慢性病(生活習慣病や慢性的経過をたどる疾患)を持ちながら生活している成人とその家族の特性を身体的・心理的・社会的側面から解説する。</p> <p>2. 慢性病を持つ成人とその家族に顕在するあるいは潜在する看護問題とそれが生活に及ぼす影響を解説する。</p> <p>3. 慢性病を持つ成人とその家族がQOLの向上を目指して健康状態を管理できるように、疾病との共存過程を、関連する人々と支援するとともにセルフケア能力を高める援助方法について、理論と実際を踏まえ具体的に解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 慢性病を持つ成人とその家族の特徴・発達課題を述べることができる。(DP1-2)</p> <p>2. 慢性病が対象の成長・発達課題や日常生活に与える影響を述べることができる。(DP1-2)</p> <p>3. 慢性病をもつ成人の健康障害に対する看護活動を述べるができる。(DP2-1)</p> <p>4. 慢性病をもつ成人とその家族がQOLの向上を目指して健康状態を管理できるように、関連する人々と連携し、セルフケア能力を高める援助のあり方について述べるができる。(DP2-1)(DP3-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	10	30	0				40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40	10	0				50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)		10					10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標1～4の内容を総合的に理解し、内容について正確に説明できる。事例に関する看護問題およびそれに対する援助方法を適切に列挙できる。				目標1～4の内容を理解し、内容の概要について説明できる。事例に関する看護問題およびそれに対する看護援助を80%程度列挙できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ:成人慢性期看護学のガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性期・慢性疾患・慢性病の概念</li> <li>・慢性病をもつ人とその家族の理解</li> <li>・慢性病を持つ人とその家族への看護の特徴</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
2	<p>テーマ:呼吸機能に障害を持つ人の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸機能のメカニズムと呼吸機能に障害をもつ人の理解(アセスメント)と援助・支援の基本</li> <li>・呼吸機能に関連する特有な症状を持つ人のアセスメントと看護(咳・痰)</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
3	<p>テーマ:呼吸機能に障害を持つ人の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸機能に関連する特有な症状を持つ人のアセスメントと看護(喀血、胸痛、呼吸困難)</li> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(気管支喘息)</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
4	<p>テーマ:呼吸機能に障害を持つ人の看護③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(COPD)</li> <li>・まとめ</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
5	<p>テーマ:内分泌・代謝機能に障害を持つ人の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内分泌・代謝機能のメカニズムと内分泌・代謝機能に障害がある人の理解(アセスメント)と援助・支援の基本</li> </ul> <p>(中原)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
6	<p>テーマ:内分泌・代謝機能に障害を持つ人の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(甲状腺機能亢進症)</li> </ul> <p>(中原)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
7	<p>テーマ:内分泌・代謝機能に障害を持つ人の看護③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(糖尿病)</li> </ul> <p>(中原)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>	<p>復習・予習:これまで学習した全体を通して振り返る</p>	<p>課題達成時間</p>
8	<p>テーマ:糖尿病患者の生活指導</p> <p>(中原・大嶋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習</li> </ul>	<p>復習:糖尿病に罹患した患者・家族の療養支援について指導内容を復習しておく。</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく。</p>	<p>課題達成時間</p>
9	<p>テーマ:消化・吸収機能に障害を持つ人の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化・吸収機能のメカニズムと消化・吸収機能障害を持つ人の理解(アセスメント)と援助・支援の基本</li> <li>・消化・吸収機能に関連する特有な症状のアセスメントと看護(悪心・嘔吐、腹部膨満)</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
10	<p>テーマ:消化・吸収機能に障害を持つ人の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化・吸収機能に関連する特有な症状のアセスメントと看護(吐血・下血)</li> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(潰瘍性大腸炎)</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	<p>課題達成時間</p>
11	<p>テーマ:消化・吸収機能に障害を持つ人の看護③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(肝硬変)</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p>	<p>課題達成時間</p>

	・まとめ	・小テスト	予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく	
12	<p>テーマ:腎・排泄機能に障害を持つ人の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎・排泄機能のメカニズムと機能に障害を持つ人の理解</li> <li>・代表的な疾患に罹患している人の看護(慢性腎臓病)</li> <li>・特有な症状を持つ人のアセスメントと看護(浮腫、尿毒症) (中原)</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	課題達成時間
13	<p>テーマ:腎・排泄機能に障害を持つ人の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特有の症状を持つ人のアセスメントと看護(末期慢性腎不全)</li> <li>・透析療法を受けている患者の看護 (中原)</li> <li>・まとめ</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	課題達成時間
14	<p>テーマ:生体防御機能(免疫)に障害を持つ患者の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生体防御機能のメカニズムとアセスメント</li> <li>・感染性疾患を持つ患者の看護(HIV/AIDS、日和見感染症、敗血症) (中原)</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<p>復習:本日の授業内容の振り返り</p> <p>予習:次回授業内容について配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく</p>	課題達成時間
15	<p>テーマ:生体防御(免疫)機能に障害を持つ患者の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己免疫疾患を持つ人の看護(膠原病-SLE)</li> <li>・ステロイド療法を受ける患者の看護 (中原)</li> <li>・まとめ</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	専門基礎科目(看護形態機能学、疾病学、薬理学、臨床栄養学、感染と免疫、看護に活かす臨床検査学等)、基礎看護学(ヘルスアセスメント、技術、看護過程、倫理等々)の知識を活用して慢性病を持つ患者と家族への援助方法を学ぶ科目です。したがって、各単元毎に関連する既修の部分をも十分復習して授業に臨んで下さい。
テキスト	<系統看護学講座>「成人看護学[2]呼吸器」、「成人看護学[4]血液・造血器」、「成人看護学[5]消化器」、「成人看護学[6]内分泌・代謝」「成人看護学[8]腎・泌尿器」「成人看護学[11]アレルギー・膠原病 感染症」(いずれも医学書院)、「糖尿病食事療法のための食品交換表」最新版(日本糖尿病学会・文光堂)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考書: 病気がみえるシリーズ MEDIC MEDIA, 毎回パワーポイント資料を用いる。 データベース: 医学中央雑誌, 最新看護索引Web, CINAHL等から興味がある情報を得てみましょう。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	慢性病を持つ人の看護を学びます。既習の知識や技術を活用して進みますので、今まで学んできたことを再確認しておいて下さい。範囲がとても広いので、日々の復習を確実にしていくことが大切です。各単元で渡す資料には詳細は書いてありません。思考・判断力を養うため授業は質問による確認をします。その中に大切なことが出てきますので、必要に応じてメモを取り、自己学習による理解の深まりを期待します。
達成度評価に関するコメント	範囲が広いので単元毎に小テストを行います。小テストは期末定期試験と同様の重要な試験です。毎回の学びを単元毎に「知識・理解」「思考・判断」の視点で評価を行います。また期末定期試験は「思考・判断」、「知識・理解」の視点で内容を評価します。これらを合わせて総合評価とします。